2011年（平成23年）５月11日

各　位

本店所在地　東京都千代田区麹町２－４
会　社　名　そーせいグループ株式会社
（コード番号　４５６５　東証マザーズ）
代　表　者　代表執行役社長 CEO　田村眞一
問い合せ先　執行役経営管理部長　虎見英俊
電話番号　０３－５２１０－３２９０(代表)

口腔カンジダ症治療薬「ロラミック®」の独占開発販売提携について

当社グループの 100%子会社である株式会社そーせい（以下「そーせい」）は、この度口腔カンジダ症治療薬「ロラミック®」（Loramyc®　（miconazole Lauriad™）、 当社開発コード「SO-1105」）の日本における独占開発販売権取得に関わる契約をフランスの BioAlliance Pharma(ビオアリヤンス・ ファルマ。以下、「ビオアリヤンス社」）と締結いたしましたので、お知らせいたします。

ロラミック®は免疫機能の低下した患者等に発症する口腔カンジダ症を治療する口腔粘膜付着性の抗真菌剤です。同剤は、ビオアリヤンス社が 2006 年 10 月にフランスで初めて承認を取得して以来、現在欧州 26 カ国、韓国や米国において承認されています。

当該契約に基づき、そーせいはビオアリヤンス社に対して 3 百万米ドルの契約一時金をはじめ、今後の開発進展や売上高の目標達成に応じたマイルストンを最大 18.5 百万米ドル、および販売高に応じた一定率のロイヤリティを支払います。

ロラミック®の日本における独占開発販売権の取得により、そーせいは開発品パイプラインの一層の強化を図り、引き続き欧米市場からの発売済み、或いは開発後期段階にある医薬品の導入を通じた事業展開を進めてまいります。

当社グループ代表執行役社長の田村眞一は次のように述べています。「この度ビオアリヤンス社からこのような画期的な製品の導入ができ、大変嬉しく思っております。ロラミックは薬効成分を長時間持続放出する、国内初の口腔粘膜付着型ドラッグデリバリーシステムによる口腔カンジダ症治療薬となる可能性があり、患者さんの利便性を向上させる新たな治療選択肢を医療現場に提供できると考えております。当社は今後もグローバルなネットワークを生かしパイプラインを拡充し、医療に貢献して参ります。」

編集者の方々への追記：

口腔カンジダ症について

口腔カンジダ症とは、真菌に属する主としてCandida albicans（カンジダ・アルビカンス）により引き起こされる口腔内の粘膜炎症性疾患です。HIV感染等による免疫不全患者、糖尿病のような慢性的な疾病を患っている患者の間で多く見られます。また、口腔カンジダ症は頸部がんや頭部がん患者の放射線治療中に最も多く発生する感染症です。症状としては、ひりひりする痛み、灼熱感、味覚異常等を伴う、偽膜性プラークや白斑、紅斑病変、口角炎等が見られます。口腔カンジダ症の治療が行わなければ、症状が食道に広がり、全身合併症を来たす可能性があります。

そーせいグループ株式会社について

そーせいグループは医薬品開発に注力するバイオ医薬品企業です。グローバルベースでの新規開発品の導入や探索、自社開発や提携による研究開発活動を通じ、リスクコントロールされた開発品パイプラインを構築する独自の事業展開を図っております。

また、そーせいグループの100%子会社である株式会社そーせいは日本における医薬品の研究開発、事業化を推進しております。

そーせいグループについての詳細な情報は、www.sosei.comをご覧ください。

ビオアリヤンス社について

ビオアリヤンス社はがんの病理診察、化学治療や放射線治療によって引き起こされた合併症、免疫不全患者における日和見感染症等、がんやがんの支持療法のための医薬品開発に注力しています。特に、医療現場で必要とされる革新的な希少疾患医薬品の研究開発を促進しています。

ビオアリヤンス社は、1997年に設立され、2005年にパリのユーロネクスト証券取引所に上場しました。同社、革新的な医薬品の提供で患者のニーズを満たすことによって、この分野におけるリーディングプレヤーを目指しています。同社は医薬品の探索、研究開発や欧米での申請等に欠かせないノウハウを有する優秀な人材をそろえています。また、医薬品の販売権を国際的な企業に導出しています。同社は、アンメットメディカルニーズに応え、患者の健康やQOL向上に貢献しています。

ビオアリヤンス社についての詳細な情報は、www.bioalliancpharma.comをご覧ください。

以　上